

パブリックコメント結果一覧

○意見募集期間：平成25年6月19日～7月18日

○意見等の件数：11人より13件

	ご意見の要旨	市の考え方
計画の実施について		
1	計画案については大体満足しますが、これを実行するについて、何から実行していくか早急に順位を示してほしい。そしてこの計画案にもとづいて、どの様な形にして行くか、詳しい部分も早急に立ちあげてほしい。	本計画の実施にあたっては、歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針に基づき、関連計画との調整や関係部局との連携を図りながら進めてまいります。
2	今すべきことは、まず、この計画を始めることである。認定後10カ年の計画なのだから、その間、よりよい方向に修正、変更すればよいと思う。また、自然も文化も歴史も多様で、豊かな多くの顔を持つ現在の政令指定都市堺にとって、初めての取り組みであるこの計画で、全てを網羅することはできない。このため、重点地域の設定については、堺市景観計画でも「重点的に景観形成を図る地域」とされている、「百舌鳥古墳群周辺地域」と「堺環濠都市地域」の2地域をまず設定し、計画を始めることは妥当であり、ここから始めて、堺市を本当の「歴史文化のまち」にするための第一歩にしていきたい。	
3	この計画が、たとえ、現在の私たちから見て疑問の残る計画であっても、この計画を実施することによって、今後、私たち市民と行政が本当の意味で協働し、真の「歴史文化のまち堺」を創り上げていく可能性が、初めて生まれてくると考えられる。	本市の有する貴重な歴史文化を未来へと継承するその一歩として本計画のもと市内連携、公民協働により堺固有の歴史的風致の維持向上に取り組み、市民が愛着と誇りを持ち訪れる人にも感動をあたえられるようなまちをめざしてまいります。
4	百舌鳥古墳群及び周辺区域の範囲は、「百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録推薦書原案」で、明らかにされた百舌鳥古墳群の緩衝地帯の範囲とほとんど同じである。 今後、引続き世界遺産登録を目指すためにも、この歴史的風致維持向上計画との連携と、計画の速やかな実施が不可欠である。	本計画において百舌鳥古墳群及び周辺地域を重点区域に位置付け、歴史的風致の維持向上に向け、重点的に取り組んでいくこととしています。計画の実施にあたっては、大阪府、羽曳野市、藤井寺市とともに進めております百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に係る取組みなど、他の計画との整合、関係部局との連携を図りながら進めてまいります。

パブリックコメント結果一覧

歴史的風致について		
5	<p>約 1600 年前に南区を中心とした地域に存在し、『日本書紀』にも記載された「陶邑（すえむら）」という地域で焼かれていた須恵器は、日本最大の食器生産の一大工業地帯で、現在、我々が使用している食器の源流である。また、須恵器が生産された森林は、先人が残してくれた古代の景観であり、今現状の自然と残存する須恵器の窯跡共に古代の歴史的風致地区として将来の子供たちのために保存し未来に引き継ぎたいと思う。特に、古代の森の景観と須恵器の窯跡が良く残っている「多治速比売神社の森と日本最古級の高蔵寺 73 号窯跡とその窯跡前の谷間」、「大蓮公園の森と大蓮池の窯跡群がある谷間」の 2 ヶ所が古代の歴史的風致地区に相応しく、「須恵器の里」あるいは「陶器の里」として世界にも発信できる歴史的文化と考える。</p>	<p>ご指摘のとおり、南区を中心とした地域には、今も豊かな自然環境のなかで須恵器の窯跡が残されており、計画書においても陶邑窯跡群は日本最大の須恵器の生産地と記載しています。</p> <p>歴史的風致は、良好な市街地環境において、現在まで続く伝統的な人々の活動が営まれていることが不可欠であり、当地域においては須恵器の生産が継続されていないことから、歴史的風致として位置付けることはできませんが、本計画とは別に、このような貴重な歴史遺産の普及啓発に努めてまいります。</p>
事業について		
6	<p>この区域における事業として、なぜこの計画に入るのか疑問のある事業がいくつかある。「文化観光拠点整備事業」、「コミュニティサイクルポート整備事業」である。本当に「無理やり」入ってきているような感じで、かなりの違和感がある。</p>	<p>文化観光拠点整備事業については、茶の湯体験等の地域固有の歴史・文化資源について、数多くの人々が触れ、感じ、共感してもらえる機会を創出することにより、堺の歴史・文化資源が持つ魅力を再認識し更なる意識醸成に繋がるなど、その波及効果が期待できることから歴史的風致の維持向上に資する事業と考えております。</p> <p>またコミュニティサイクルポート整備事業は、堺の伝統産業である自転車を活用することにより、環濠都市地域内の回遊性が高まることから、歴史的風致の維持向上に資する事業と考えております。</p>
7	<p>「紀州街道沿道の景観づくり」として、「阪堺線沿線の植栽帯の改善」をあげているが、いわゆる、線路の両側のグリーンベルトだけを対象にするのでは全く不十分である。是非、街路樹も含む景観づくりに取り組んでいただきたい。</p>	<p>本計画の実施にあたっては、歴史的風致の維持及び向上に関する基本方針に基づき、関連計画との調整や関係部局との連携を図りながら進めてまいります。</p>

パブリックコメント結果一覧

8	<p>この区域の事業の中で、この計画の中心に位置付けられると考えられるのが、「歴史的建造物保存修理事業」と「まちなみ再生事業」である。「まちなみ再生事業」に関しては、大阪市を始めとする府内の近隣市（八尾市、枚方市、岸和田市など）でも町家などの景観を保持するための助成制度をすでに有しているという。大阪市などでは新築であっても、周囲の景観に配慮すれば助成を受けられる。「歴史文化のまち堺」という堺市には、現在も、このような助成制度は全くない。戦災をまぬがれた環濠都市北部には従来多くの町家等が残されていたが、堺市の取り組みの遅れにより、貴重な多くの町家などが失われた。緊急の課題と思っている問題であり、町家などを保存修景し、まちなみを再生していくためには、まさしく今が最後のチャンスである。</p>	<p>本計画では、百舌鳥古墳群及び周辺区域と環濠都市区域を重点区域に位置付けています。環濠都市区域については、その取組みの中で「歴史的建造物保存修理事業」と「まちなみ再生事業」を位置付け、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺について、歴史的建造物の保存修理や町家等の修景への支援、町家周辺の景観整備などにより、歴史文化資源を生かしたまちなみの再生を進めてまいります。</p> <p>まちなみの保全や再生を進めていくにあたっては、地域の方々のご理解とご協力が不可欠であり、今後、公民協働により取り組んでいきたいと考えております。</p>
9	<p>近年観光で堺七まちを訪れる人も増え、街なみをもっと整えば、観光客の方々も堺をより楽しんでくださると思う。堺七まちは福知山市の広小路のように一筋だけに絞ることは難しいが、少しでも閉まったシャッターの外観がなくなるだけでも、堺の観光への満足度が変わってくる。春の特別公開も次からはなくなる方向のようなので、資金をまわせるところはまわして、景観にも力を注いでほしい。</p>	
10	<p>大和川から綾之町までの紀州街道を他どこにもない煉瓦道に戻してほしい。</p> <p>紀州街道沿いの綾之町東の閉店したパチンコ屋を買い取り、建物を取り壊し、江戸末から明治のような古い建物風の市場を再現して若い色々な物造り作家の店兼工房やカフェを誘致して、そこを起爆剤にしてせめて外見だけでも古い町並に戻す補助制度を作り、希望があれば古い町屋を買い取って改修、活用してほしい。若い住人や子どもたちも誇りに思える活気ある楽しい美しい町になれるよう、そのために古い町並を取り戻したい。</p>	

パブリックコメント結果一覧

11	<p>北旅籠町の町づくり、室町時代から江戸時代にかけて堺が繁栄した歴史的な町割、町なみなど、これからもっと大事な町づくりに堺でしかない歴史に向き合ってほしい。堺にとって何が大事で何が必要なかをもっと真剣に考えてほしい。</p> <p>町なみ保存にもう少し助成金を！！堺でしかない建造物に力をそそいでほしい。</p>	<p>本計画では、百舌鳥古墳群及び周辺区域と環濠都市区域を重点区域に位置付けています。環濠都市区域については、その取組みの中で「歴史的建造物保存修理事業」と「まちなみ再生事業」を位置付け、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺について、歴史的建造物の保存修理や町家等の修景への支援、町家周辺の景観整備などにより、歴史文化資源を生かしたまちなみの再生を進めてまいります。</p> <p>まちなみの保全や再生を進めていくにあたっては、地域の方々のご理解とご協力が不可欠であり、今後、公民協働により取り組んでいきたいと考えております。</p>
12	<p>堺は東洋のベニスと呼ばれ、また仁徳天皇陵古墳をはじめ、日本の歴史を語るうえでなくてはならない町だと思っている。歴史を大切にすることも堺市民として誇りをもつ意味でも、堺の町を日本に知らしめてほしい。まちなみ再生事業などにより古い物を大切に保存して行ってほしい。</p>	
13	<p>まちなみ再生事業と歴史的建造物保存修理事業は一刻も早く取り組んで頂きたい。</p>	